



国立病院機構のシンボルマーク



独立行政法人国立病院機構  
 **松江医療センター**  
**呼吸器病センター**  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <http://www.mmedc.jp/>  
 発行責任者 院長 中島健二  
 編集者 事務部長 松本良一



開催予告

松江医療センター



# ふれあいまつり 2018



## 9/29日(土)



### 10:00~14:30

入場無料 雨天決行

昨  
年  
の  
様  
子



高齢者疑似体験



作品・展示



市民公開講演会



ステージ



スタンプラリー



模擬店



ヨーヨーすくい

### テーマ：見よう！ 聞こう！ ふれあおう！

地域に根差した医療の実践の為、地域の方と医療センターとの交流を深め、また子どもたちに医療の現場を体験してもらう事で、当院を知っていただく事はもちろんのこと、将来、医療の道へ進むきっかけ作りの場になることを目的として、本年も開催いたします。



教育研修部より

空気と水と温度：その3（問題解決の話）	2
「Best Doctors in Japan 2018-2019」	3
トピック：診療看護師	3
永年勤続表彰	4
5月22日「看護フェア」を開催して	4～5
各部門職場紹介 教育研修部	5
新人医師紹介	5

異動者紹介	6～7
人事異動	7
地域医療連携交流会開催のお知らせ	7
開業医紹介コーナー	8
地域医療連携室だより	9
国内最大級の病院ネットワーク	10～11
外来診療表	12

**基本理念** 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。





～ 教育研修部 コラム ～

空気と水と温度：その3（問題解決の話）

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

（昨年11月号、今年4月号に引き続き、「空気と水と温度」の話です。

今回はその解決をするためにはどうすればいいかを考えてみました。）

空気、水、温度の問題はいつの時代もどこにいてもついて回る問題であり、なかなか解決に至りません。自分自身この大問題を解決できるチカラは持ち合わせていません。しかし、このような問題の解決はそれらが問題であると認識することから始まるのではないかと考えます。2016年4月号の「穴道湖」に記した「ルーティンクエストの問い」と同様です。前進しようと考え、行動すること。その行為は空気を変えるきっかけになり、一時的に空気を構成する一部にとっては $FiO_2$ が変動し苦しいかもしれません。しかし、それが様々な意味（論理的、倫理的、社会的、歴史的など様々な方向性において）において正しいものであればおそらく苦しい状況は一時的なものであり、真にいい空気の入替えになることでしょう。しんどくなるから、ということで水を差す行為は一見空気の $FiO_2$ を保つ（＝定常状態に保つ）勇者の行為のように見えますが、正しいものに水を差す場合には、それは組織の質を下げることである可能性が高いことを自覚する必要があります。繰り返しますが、現状維持に固執すると、成長曲線は描けません。

こうして考えを進めていくと、目の前にあることに固執する（＝ $FiO_2$ の堅持に拘り「水を差す」行為を繰り返す）ことは大気圏外（その場の空気の外）が見えていない近視眼的視点ということがわかります。なぜならば空気を変えようとする行為はその場の空気と異なる空気を知っている者からもたらされるからです。それでは温度差問題をどうするか？我々の住む日本には四季があります。寒い時もあれば、暑い時もあります。それぞれの季節のよさがあり、苦手と感じる季節もあるでしょう。しかし我々はその中で生きています。その中で生きなければなりません。ただ季節の変わり目と片付けるのではなく感じる温度差に隠れているはずの重要な問題を見出すべきなのです。差分に気付いたときこそそれを炙り出し、真剣に考え、進むべき方

向性、ビジョン、戦略を練り直すいい機会なのです。ここでは排他でなく協調的にお互いに何を欲しているのかを知る、知ろうとすることが重要でしょう。となるとこの複雑な空気・水・温度問題を解決するには、大気圏の外からその場を眺める視点、すなわち巨視的視点が必要であり、これがどうやら最も重要であることに気づきます。場の外に出て、他の場の空気や水がどうであるか確かめること。自分が享受しているそれらが世の中標準であるのかどうかを確かめてみる。温度の差があることも大気圏外から見れば大した問題ではない可能性もあるし、どちらかが時代遅れや季節外れ、という可能性も認識が可能です。その巨視的視点に立ち、自分の居場所の空気・水・温度をメタ認知すること、思考を放棄しないこと、が重要なのです。また、そうなるとその場を構成するそれぞれが自立をすること、自立した上でお互いにリスペクトすること、排他的にならず $FiO_2$ や温度のすり合わせができること、が難命題解決の十分条件になるでしょう。

翻ってみるとあぁそうだ、教育研修部は期せずしてよくない空気を作り、水を差し、どこかと温度差を生じているかもしれない…。このようにふと立ち止まり、自省する必要があるようです。植物も空気と水と適度な温度が揃わないと育ちません。人を育てることを目的とする教育研修部はどうすべきか？協調していい空気をつくり、いいことに水を差さず、少しhotな温度を醸成することをふんわりとしたゴールにしていこう、そうすればうまくいくかなぁ…。などと考えるのです。

いつもの悪い癖でややこしく考え、徒然に書いてしまいました。長くなりましたので3回シリーズとさせていただきます。最後まで読んでいただいた皆さん、私の頭の中のグルグルにお付き合いありがとうございました。

さて教育研修部は今年度も頑張ります！皆さんも一緒に頑張りましょい！



# 「Best Doctors in Japan 2018-2019」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

さる5月のとある日。

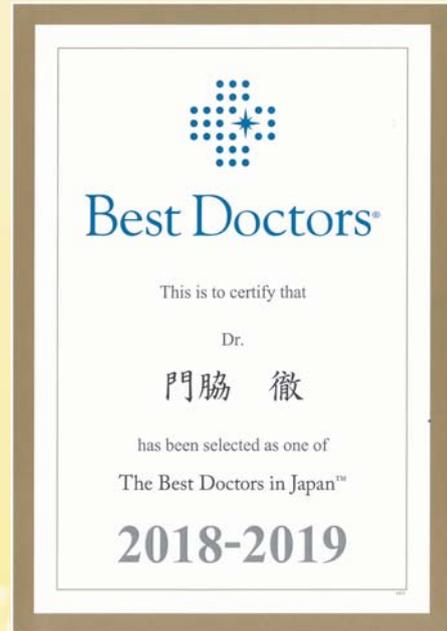
「Best Doctors in Japan 2018-2019に選出されました！」というお知らせとともにこのような賞状のようなものが届きました。この認定のことはさっぱり知らなかったので調べてみると…

医師同士の相互評価で選出される信頼のおけるcertificationなんだそうです。ちなみに今回の認定は全国で約6,500名とのことでした。

<https://bestdoctors.com/japan/for-physicians/>

このような認定をいただき心から感謝いたします。これもひとえにこれまで小生を鍛えてくださった諸先輩方、当院呼吸器内科の先生方、当院のスタッフの方々、そして何より様々なことを教えてくださる患者さん・ご家族の皆さんのおかげです。

これを励みに今後も精進を重ねていきたいと思っております。皆様今後ともよろしくお願いたします。



## トピック：診療看護師

診療看護師 中村 光太



はじめまして。平成30年4月1日から、統括診療部で診療看護師：JNP（Japanese Nurse Practitioner 以下JNP）として臨床研修中の中村光太と申します。

JNPとは、「医師と連携を図りながら患者さんに必要とされる医療的介入を指示の範囲内で自律的に行うことができる看護師」をその役割としています。かみ砕いて説明しますと、「今まで看護師では行っていた医療行為のうち、一定の範囲について、医師の指示があれば行うことができる資格を持った看護師」ということとなります。アメリカやオーストラリアではナース・プラクティショナー（以下NP）という呼称で1960年代頃に誕生しました。当初は、医療過疎地の診療補助を目的として創設された資格ですが、現在では医師の診療のパートナーとして広く社会に認知されています。

日本は2025年に国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という、かつて人類が経験したことのない『超高齢社会』を迎えることが予測されています。医師に負担が集中しないように分業を行い、地域の患者さんに対し、安全安心で効果的な医療を提供することを目標として頑張ります。どうか宜しくお願いします。



## 永年勤続表彰

管理課庶務班長 星原 昌美

4月25日に永年勤続表彰の伝達式が当院大会議室において執り行われました。院長から表彰状と記念品が一人ひとりに授与され、伝達式の後には院長から長年の勤務に対する感謝の意ねぎらいの挨拶がありました。表彰された方々は、次のとおりです。

### 【勤続30年表彰】

事務部長 松本 良一  
 看護師 持田 和美  
 看護師 木村 真理世

### 【勤続20年表彰】

医療安全管理係長 小林 里美  
 看護師 田淵 まゆみ

看護部 看護師 持田 和美

この度は表彰を頂きありがとうございました。今まで諸先輩のご指導を頂き、同僚に支えてもらい、後輩にフォローしてもらったお蔭で今があると思います。また各病棟では担当のDrに検査や処置の介助を通してご指導頂き、勉強させて頂きました。今後も皆様のご指導を頂きながら勤めさせて頂きたいと思っております。

看護部 看護師 田淵 まゆみ

20年を振り返ると、多くの出会いと別れがありました。また、私自身家族の介護をする中で、患者さんだけでなく、家族も含めた支援が大切だということを強く感じています。これからも1人ひとりの患者さんやその家族と真摯に向き合い、少しでも寄り添えていけたらと思っています。ありがとうございました。

看護部 看護師 木村 真理世

30年の半分以上を重症心身障がいと筋ジストロフィーの看護に携わってきました。病院は建てかわり取り巻く環境も変わりつつありますが、患者さんご家族と共に歩んできた道のりを改めて振り返り、次世代へ繋げていきたいと思っています。



## 5月22日「看護フェア」を開催して

看護部広報委員 一階病棟 兼折 孝行

『看護の日』に因んだイベントの「看護フェア」を、5月22日にみしまや上乃木店で行いました。天候にも恵まれ50の方に参加して頂きました。血圧測定、身長体重測定、骨密度測定、体脂肪測定や、認定看護師による看護相談、薬剤師によるお薬相談、管理栄養士による栄養相談を行いました。「血圧は毎日測るようにしている」「骨密度は普段測れないから測ってみたい」という声が聞かれ、日頃からご自分の健康に気を付けていらっしゃる方や、健康に興味のある方が多いように感じました。健康相談では認知症の予防方法、困った時の相談場所などの相談が多くあり、積極的に質問されていました。お薬相談では普段から血圧測定されている方が多いこともあってか、血圧についての相談が多くありました。栄養相談では骨密度測定をしたことから、骨粗鬆症予防によ

い食事についての相談が多く、真剣に管理栄養士の説明を受けておられました。今回の看護フェアを通して、地域の方々の健康を応援する一助に、また、当院を地域の方々に知って頂く機会となりました。

院内では、病院の売店横のホットコーナーにそれぞれの病棟の様子や特徴の書かれた病棟紹介ポスターを掲示しました。病棟紹介ポスターの隣に『私の家族』というテーマで職員の子供さんたちが描いた絵を展示しました。個性あふれる微笑ましい絵に患者さん、家族の方々、職員から癒されるとの感想をいただきました。また、看護師から受け持ち患者さんへメッセージカードを作成し、昼食時のお膳と共に配布しました。

開催・運営にあたり、事務部門、薬剤部、栄養科の方々にもご協力頂きました。たくさんのご参加とご協力ありがとうございました。



## 各部門職場紹介 教育研修部

教育研修部は、「皆さんの知識向上のためのプロデューサーでありたい。院内外を問わず教育のコーディネーターでありたい。」をモットーに運営を行っています。

院内向けとしては、当院職員の医療水準を向上させるための研修会（看護部のACTy研修、院内認定研修や時間外に実施する専門研修、各医療チームや事務部門主催の全体研修）の企画や立案・統括を行っています。また院外向けとして、年5回開催の肺疾患懇話会（開業医の先生方を対象）、年1回開催の松江呼吸器セミナー（医療系職種を対象）などの企画・運営を行っています。

「学びたい」という職員の皆さんのお役にたてればと思っています。



教育研修部長	門脇	徹
教育研修副部長	古門	千代美
事務補助	永井	早紀

## 新人医師紹介

### 放射線診断部長

田邊 芳雄



本年4月から放射線科医師として勤務しています。生まれは島根県浜田市です。画像診断が専門で、特に核医学の領域に長く携わって来ました。熱心な放射線科スタッフに囲まれて、少しずつ業務に慣れてきているところです。趣味はテニスですが、全然上達せずにキャリアばかりが長くなってきています。ご指導をよろしくお願い致します。

### 小児科医師

百中 宏



4月から松江医療センターで働かせていただいております百中と申します。以前は山口県の山口宇部医療センターの重症心身障がい児(者)病棟で4年間働いておりました。こちらでも重症心身障がい児(者)病棟を担当しています。ご迷惑おかけしますが、どうぞよろしくお願いたします。



## 異 動 者 紹 介

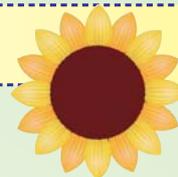


ひきじ まさと  
**引地 正人**

職 名：薬剤部長

趣 味：温泉めぐり、ジョギング

ご挨拶：高松医療センターから異動してまいりました。島根県は、はじめての勤務地となりますので不安な点もありますが、少しでも早く慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。そしてもう一つの目標として、12月に開催される「国宝松江城マラソン」の完走を目指します。どうぞ宜しくお願い致します。



さかい ちかこ  
**堺 千賀子**

職 名：栄養管理室長

趣 味：ライブに行くこと、美味しいものを食べること

ご挨拶：東徳島医療センターから来ました。出身は広島県福山市です。中国四国グループ7施設目ですが、島根県は初めての勤務地となります。早く島根っ子になり、患者さんと出雲弁？でお話ができるようになる事が今の目標です。だんだん。どうぞよろしくお願ひします。



やまだ なるお  
**山田 成功**

職 名：看護師長

ご挨拶：この4月に、鳥取医療センターから1階病棟へ師長に昇任してきました、山田成功（なるお）と言います。鳥取では、神経筋難病の病棟で勤務した経験もあり、その経験を発揮して病棟に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。



ほしはら まさみ  
**星原 昌美**

職 名：庶務班長

趣 味：ガンダム鑑賞

ご挨拶：晴れの国岡山県からやってまいりました。3月までいた南岡山医療センターとは特徴が似たところがあります。「見せてもらおうか新しく来た庶務班長の性能とやらを」と言われても大丈夫なくらい早く仕事に慣れて、少しでも病院を明るくすることができればいいなと思っていますのでよろしくお願ひします。





たかはし ひとし  
高橋 仁司

職 名：臨床検査技師長

趣 味：旅行 スポーツや映画鑑賞

ご挨拶：国立病院（機構）に就職し35年目です。その間、転勤が8回で施設は7施設を経験しました。（松江は2度目の勤務、その間の単身赴任は17年間です）

検査科で出来る経営改善や診療支援・患者サービスを充実する取り組みに心がけ、残りの期間がだんだん短くなってきましたので一つ一つ丁寧に対応していこうと思っておりますのでよろしくをお願いします。



## 人 事 異 動

発令月日	事 項	職 名	氏 名	備 考
6月30日	辞 職	呼吸器外科医師	窪 内 康 晃	松江赤十字病院へ
7月1日	採 用	呼吸器外科医師	大 野 貴 志	鳥取大学医学部附属病院から



## 地域医療連携交流会開催のお知らせ

地域医療連携交流会は連携させていただいている医療機関や開業医の先生方をご招待して当院との交流や連携を促進する目的で開催しています。

日時：平成30年10月18日（木） 19時～

場所：松江エクセルホテル東急

内容：肺疾患懇話会 懇親会

お問い合わせ先  
松江医療センター地域医療連携室  
TEL:0852-24-7671

# 開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.22

## 津森医院

みなさんこんにちは。

私は信州大学を卒業し大阪で研修、臨床を行った後、平成20年に松江で父の医院である津森医院を継承しました。

勤務医時代は血液内科医として診療を行っていましたが、当院は松江中心部から離れているため現在は内科一般、時には外科も、また対象も子供からお年寄りまで、場所も診療所、出張所、施設、訪問診療と幅広く行っております。松江医療センターへは当初検診で見つかった肺野異常陰影など呼吸器疾患を主に紹介させていただいておりましたが、最近はパーキンソン病その他神経難病の方の相談に乗っていただいたり、さらに幅広い分野でお世話になるようになっております。

今後ともよろしくお願ひ致します。



医療法人 仁心会 **津森医院**

院長 津森 洋 先生

	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 5:00~6:30	○	○	×	○	○	×

松江市本庄町567-1

TEL 0852-34-0125

FAX 0852-34-0190

Email medworks007@gmail.com

往診、定期訪問診療も承ります

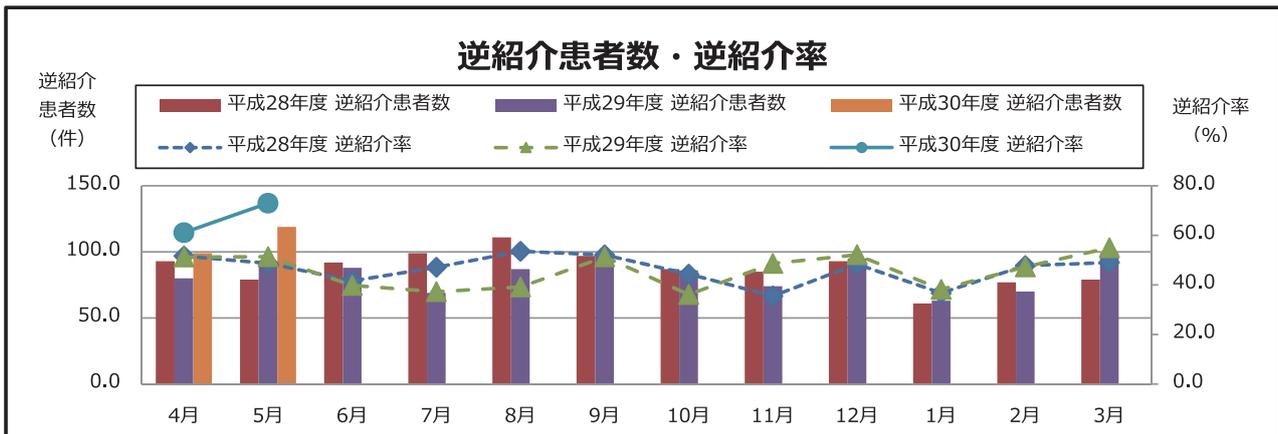
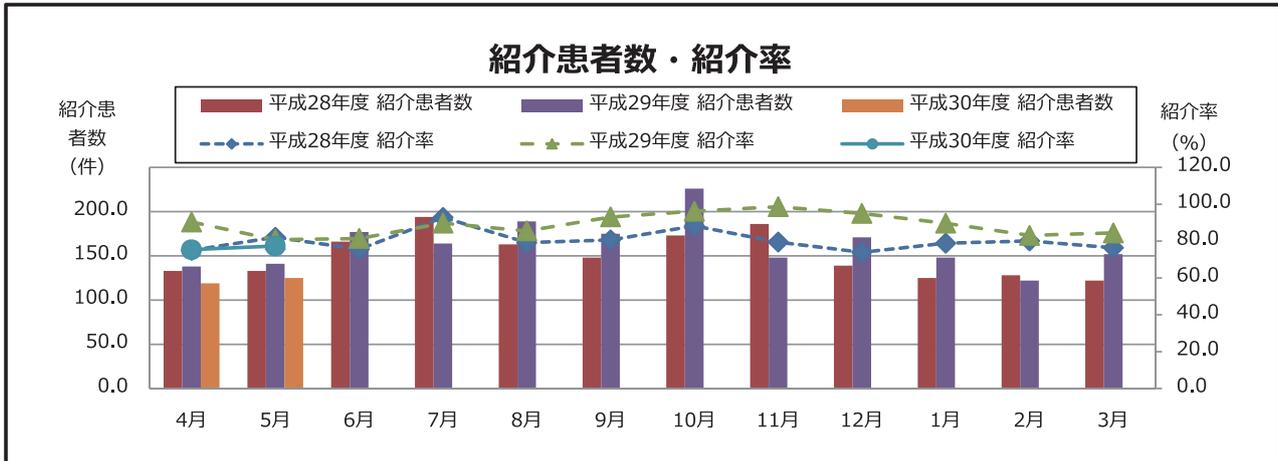
日曜・祝日は休診にさせていただきます

但し急患の場合、曜日時間に関係なくご連絡ください

# 地域医療連携室だより 第31号

2018年7月

## 1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



## 2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 (人)		183	198										217
退院先	在宅 (人)	114	133										126
	施設 (人)	4	1										6
	病院 (人)	7	9										11



※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。  
 逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数(休日、夜間の救急患者数を除く。)



# 国内最大級の病

<p>132.熊本再春荘病院</p> 	<p>120.大牟田病院</p> 	<p>103.東広島医療センター</p> 	<p>95.米子医療センター</p> 	<p>88.兵庫あおの病院</p> 	<p>81.南京都病院</p> 	<p>74.教賢医療センター</p> 	<p>67.東名古屋病院</p> 		
<p>133.大分医療センター</p> 	<p>121.福岡東医療センター</p> 	<p>104.賀茂精神医療センター</p> 	<p>96.松江医療センター</p> 	<p>89.兵庫中央病院</p> 	<p>82.大阪医療センター</p> 	<p>75.あわら病院</p> 	<p>68.東尾張病院</p> 		
<p>134.別府医療センター</p> 	<p>122.佐賀病院</p> 	<p>105.関門医療センター</p> 	<p>97.浜田医療センター</p> 	<p>90.奈良医療センター</p> 	<p>83.近畿中央胸部疾患センター</p> 	<p>76.東近江総合医療センター</p> 	<p>69.豊橋医療センター</p> 		
<p>135.西別府病院</p> 	<p>123.肥前精神医療センター</p> 	<p>106.山口宇部医療センター</p> 	<p>98.岡山医療センター</p> 	<p>91.やまと精神医療センター</p> 	<p>84.刀根山病院</p> 	<p>77.紫香楽病院</p> 	<p>70.三重病院</p> 		
<p>136.宮崎東病院</p> 	<p>124.東佐賀病院</p> 	<p>107.岩国医療センター</p> 	<p>99.南岡山医療センター</p> 	<p>92.南和歌山医療センター</p> 	<p>85.大阪南医療センター</p> 	<p>78.京都医療センター</p> 	<p>71.鈴鹿病院</p> 		
<p>137.都城医療センター</p> 	<p>125.嬉野医療センター</p> 	<p>108.柳井医療センター</p> 	<p>100.呉医療センター</p> 	<p>93.和歌山病院</p> 	<p>86.神戸医療センター</p> 	<p>79.宇多野病院</p> 	<p>72.三重中央医療センター</p> 		
<p>138.宮崎病院</p> 	<p>126.長崎病院</p> 	<p>116.小倉医療センター</p> 	<p>101.福山医療センター</p> 	<p>94.鳥取医療センター</p> 	<p>87.姫路医療センター</p> 	<p>80.舞鶴医療センター</p> 	<p>73.柘原病院</p> 		
<p>139.鹿児島医療センター</p> 	<p>127.長崎医療センター</p> 	<p>117.九州がんセンター</p> 	<p>102.広島西医療センター</p> 						
<p>140.指宿医療センター</p> 	<p>128.長崎川棚医療センター</p> 	<p>118.九州医療センター</p> 	<p>119.福岡病院</p> 						
<p>141.南九州病院</p> 	<p>129.熊本医療センター</p> 	<p>142.沖縄病院</p> 	<p>130.熊本南病院</p> 						
<p>143.琉球病院</p> 	<p>131.菊池病院</p> 	<p>113.四国がんセンター</p> 	<p>111.高松医療センター</p> 					<p>109.東徳島医療センター</p> 	
		<p>115.高知病院</p> 	<p>114.愛媛医療センター</p> 					<p>112.四国こどもとおとなの医療センター</p> 	<p>110.徳島病院</p> 

# 院ネットワーク

The map shows 69 numbered regions across Japan, each associated with a specific hospital or medical center. The regions are color-coded: purple for Hokkaido, blue for Tohoku, pink for Kanto, green for Chubu, and light blue for Kyushu. The following table lists the hospitals corresponding to each number on the map.

Number	Hospital Name
1	北海道がんセンター
2	北海道医療センター
3	函館病院
4	旭川医療センター
5	帯広病院
6	岩手病院
7	釜石病院
8	旭川医療センター
9	仙台医療センター
10	仙台西多賀病院
11	宮城病院
12	八雲病院
13	あきた病院
14	弘前病院
15	山形病院
16	八戸病院
17	青森病院
18	盛岡病院
19	盛岡病院
20	福島病院
21	いわき病院
22	花巻病院
23	水戸医療センター
24	茨城東病院
25	栃木医療センター
26	宇都宮病院
27	高崎総合医療センター
28	沼田病院
29	渋川医療センター
30	西埼玉中央病院
31	埼玉病院
32	東埼玉病院
33	千葉東病院
34	千葉東病院
35	下総精神医療センター
36	下志津病院
37	東京医療センター
38	災害医療センター
39	東京病院
40	村山医療センター
41	横浜医療センター
42	久里浜医療センター
43	箱根病院
44	相模原病院
45	神奈川病院
46	西新潟中央病院
47	新潟病院
48	さいがた医療センター
49	甲府病院
50	東長野病院
51	まつもと医療センター松本病院
52	まつもと医療センター中信松本病院
53	信州上田医療センター
54	小諸高原病院
55	富山病院
56	北陸病院
57	金沢医療センター
58	医王病院
59	七尾病院
60	石川病院
61	長良医療センター
62	静岡てんかん・神経医療センター
63	静岡富士病院
64	天竜病院
65	静岡医療センター
66	名古屋医療センター
67	小笠原病院
68	小笠原病院
69	小笠原病院

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成30年7月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科		岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【副院長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 【統括診療部長】呼吸器一般	
		多田	小林	岩本	西川	木村		呼吸器一般
		矢野	門脇	池田	坪内	小林		呼吸器一般
循環器内科						生馬	呼吸器一般	
神経内科		中島	古和	深田	足立	交替制	呼吸器一般	
			下山		細田			
呼吸器外科		荒木		目次		荒木	呼吸器一般	
		大野				大野		
小児科	発達専門外来	久保田	齋田	齋田	久保田	齋田	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般	
		(予約)	久保田(予約)	(予約)	齋田(予約)	(予約)		
	予防接種		(予約)					
腰痛外来				西村(予約)			【神経内科】 中島 健二 足立 芳樹 古和 久典 細田 義人 下山 良二 深田 育代 【院長】神経内科 【臨床研究部長】神経内科 【診療部長】神経内科 神経内科・リハビリテーション 神経内科 神経内科	
特 殊	睡眠時無呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 大野 貴志 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科	
	息切れ外来		呼吸器内科 池田(予約)					
外 来	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害	
	咳嗽外来					池田 (予約)		
外 来	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		【麻酔科】 西村友紀子 麻酔科領域	
	アスベスト外来		多田 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)			
	神経難病外来		下山		足立			
	もの忘れ外来			深田				
その他	セカンド オピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	<p>診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30</p> <p>独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661</p> 	

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日: 毎週月~金曜日 15:00~17:00 (要予約) 内容と特色: ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,400円
	睡眠時無呼吸外来	診療日: 毎週木曜日 14:00~16:00 (要予約) 内容と特色: いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日: 毎週火曜日 13:00~15:00 (要予約) 内容と特色: 息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日: 毎週金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色: 成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日: 毎週金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色: 3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日: 毎週木曜日 10:00~12:00 (要予約) 内容と特色: 禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日: 毎週火・水・木曜日 8:30~11:00 (要予約) 内容と特色: 石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日: 毎週火・木曜日 9:00~12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日: 毎週水曜日 9:00~12:00 内容と特色: もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達 専門外来	診療日: 毎週月~金曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色: こたばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかダイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日: 毎週水曜日 9:00~12:00 (要予約) 内容と特色: 主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンド オピニオン外来	診療日: (完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色: 呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。	